



令和7年度 四日市市立 楠中学校 学校づくりビジョン

学校教育目標 『 あたたかさ 』『 たくましさ 』『 たしかさ 』

« めざす生徒の姿 »

互いを認め合い、志を持ち
自らの進路を切り拓いていける生徒

« めざす学校の姿 »

生徒の学びと達成感を育む学校
保護者や地域に信頼される学校

あたたかさ

「思いやりのある豊かな心の育成」

1. 人権教育および道徳の充実

規範意識と人権尊重の実践的態度を育成する

→ねらいを明確にした人権教育・道徳授業の展開

2. 教育相談の充実

日常の生徒とのふれあいや教育相談等を通して生徒理解を深める

→いじめ調査・Q U 調査・定期的な教育相談・SLN 活用

3. 生徒会活動の充実

主体的で思いやりのある活動ができる力を培う

→生徒集会・委員会活動の推進

→地域のつながりを学ぶボランティア活動の推進

たくましさ

「健やかな心と体の育成」

1. 主体的な活動の充実

心身の健康と社会性を育成し達成感を共有させる

→生徒主体の行事（文化祭・体育祭・修学旅行等）の創造

→楠スポーツクラブと連携し、社会性と主体性を養う部活動の実施と地域との連携

2. 健康教育の推進

健康な生活習慣の実践力を身に付けさせる

→命を大切にする教育・健康教育・健康集会の実施

3. 安全教育の徹底

危機管理を徹底し安全教育を推進する

→実践的な避難訓練の実施・防災ノートの活用

たしかさ

「確かな学力と社会への参画力の育成」

1. 学力の向上

基礎学力の定着と問題解決能力を育成する

→論理的思考力・言語能力の育成

→ICT 活用による授業改革

→基礎学習・補充学習・家庭学習の充実

→「主体的・対話的で深い学び」の推進と実践

2. キャリア教育の推進

自己理解を通して、自らの生き方を考えさせる

→体験活動等を通じた主体的な進路選択

3. 特別支援教育の推進

個に応じた学習支援を推進する

→個別の指導計画等の作成と指導の工夫

業務の精選等により、子どもたちとふれあう機会や学び合う活動の場を増やし、子どもたちとの心の絆を深める。

« 学校における働き方改革の推進 »

☆専門性を生かした「チーム学校」の推進

☆校務 DX の推進による業務改善

☆自ら学びあう教職員集団の構築

☆楠スポーツクラブと連携した部活動地域移行

« 安心して学べる学校 »

☆くすのき教室を核とした登校支援の充実

☆つきたい力を意識した特別支援教育の充実

☆教育的ニーズに応じた指導・支援体制の充実

☆安心して学べる校内施設・設備の改善

« 地域とともに歩む学校 »

☆HP 等による学校の情報発信の充実

☆地域連携の充実（CS、くすば、楠地区各団体）

☆中学生の地域行事への参加による社会貢献

☆地域の異校種連携による「学びの一体化」の充実